

2021年1月13日

報道関係者各位
プレスリリース

株式会社ウィッツ
(証券コード:4440)

新交通の実証実験「きたひろライド」にウィッツの MaaSプラットフォーム「SXIM」を提供しました

株式会社ウィッツ(本社:名古屋市中区 代表取締役社長:服部 博行 以下「当社」)は、利益循環型サービスの提供を可能とする WITZ MaaS プラットフォーム「SXIM」(以下、SXIM)の開発を完了し、実証実験を開始しました。

当社は、北海道北広島市(市長:上野正三 以下「北広島市」)とともに持続可能な公共交通を実現するために、広告やエンターテインメントサービスによる収益を交通事業に循環させる、利益循環型サービスの有効性の検証に取り組んでいます。

本検証では、当社が開発した SXIM を利用し、市民の方々に実際に参加いただき、嗜好や移動の分析、情報や広告提供の方法などを検討しています。

第1回目の実証実験を2020年11月12日(木)から25日(水)まで実施し、現在は第2回目の実証実験を行っています。



サービス提供イメージを、わかりやすくご紹介するために動画を作成しましたので、ご覧ください。

URL:<https://youtu.be/3cYqsM5gkSQ>



※イメージ動画では乗り合いによる利用となっておりますが、現在、新型コロナウイルス感染症への対策として、1 予約ずつの利用とし、乗り合いを発生させない利用方法へ変更しております。

2021 年 1 月 11 日(月)から 31 日(日)までの期間にて、第2回目の実証実験を開始しました。当社は今後も、交通弱者を支援する地域密着型 Town MaaS の実現に取り組み、豊かな地域社会創成に貢献したいと考えております。

お問い合わせ

株式会社ウィッツ

IR 担当窓口: 佐藤・服部(孝) TEL: (052)-218-5018 Mail: ir-kanri@witz-inc.co.jp